

V 今回使用した調査票

男女共同参画のまちづくりに関するアンケート

ご協力をお願い

八女市では、男女が社会の対等な構成員として喜びも責任も共に分かち合い、性別にかかわらず、個性と能力を十分に発揮することができる男女共同参画のまちづくりをめざして、取り組みを進めています。

この調査は、男女に関わるいろいろな問題について市民の皆さんの意見を伺い、今後の施策に活用するために実施するものです。

ご多用の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

令和2年6月

八女市長 三田村 統 之

<記入上のお願い>

- 1 この調査票は全7ページです。質問は問1から問22（キ）まであります。
- 2 あてはまる番号を選び、○印をおつけください。○印は、質問文の中にとくに指示がない場合は1つだけおつけください。
- 3 この調査票への回答は無記名でお願いしています。あなた自身の回答の秘密は守られますので、率直なご意見をお聞かせください。
- 4 お手数ですが、ご回答いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて **6月30日（火）** までにご返送ください。

<お問合せ先>

八女市 人権・同和政策・男女共同参画推進課
男女共同参画推進係

〒834-8585 八女市本町6-4-7

TEL 0943-23-1314（直通）

FAX 0943-22-2186

問1 あなたは、次にあげるような分野で、男女の地位は平等になっていると思いますか。(ア)から(キ)のそれぞれで、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでください。

各項目ごとにお答えください。 (○印はそれぞれ1つずつ)	男性の方が優位	どちらかといえば男性の方が優位	平等	どちらかといえば女性の方が優位	女性の方が優位	わからない
(ア)家庭で	1	2	3	4	5	6
(イ)職場で	1	2	3	4	5	6
(ウ)学校教育の場で	1	2	3	4	5	6
(エ)地域活動・社会活動で	1	2	3	4	5	6
(オ)政治の場で	1	2	3	4	5	6
(カ)法律や制度の上で	1	2	3	4	5	6
(キ)社会通念・慣習・しきたりなど	1	2	3	4	5	6

問2 あなたは、社会全体でみた場合に、八女市ではこの10年間に男女共同参画の意識は高まってきていると思いますか。

1. 高まってきていると思う 2. ある程度は高まってきていると思う 3. 変わっていない	4. やや低くなってきていると思う 5. わからない
---	-------------------------------

問3 女性が職業をもつことについて、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

1. ずっと職業をもっている方がよい 2. 結婚するまでは職業をもつ方がよい 3. 子どもができるまでは、職業をもつ方がよい 4. 子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい 5. 女性は職業をもたない方がよい 6. わからない

問4 (現在職業をもっている方におたずねします) あなたの職場は、女性にとって働きやすいと思いますか。

1. 働きやすい 2. どちらかといえば働きやすい 3. どちらかといえば働きにくい	4. 働きにくい 5. わからない
--	----------------------

問5 (問4で「3. どちらかといえば働きにくい」「4. 働きにくい」と答えた方におたずねします) どんな点が女性にとって働きにくいと思いますか。次の中から3つまで選んでください。

1. 募集・採用の機会が少ない 2. 賃金に男女格差がある 3. 補助的な業務や雑用が多い 4. 能力を正當に評価されない 5. 昇進・昇格に男女格差がある 6. 管理職に登用されない 7. 結婚や出産時に退職する慣例や退職するような圧力がかかる 8. 中高年女性に退職を促すような圧力がかかる 9. 定年年齢が男性より低い	10. 女性に対する教育訓練機会が少ないため、能力の向上を図りにくい 11. 仕事と家庭が両立できる制度が十分整っていない 12. 仕事と家庭が両立できる制度があっても、それを利用できる職場の雰囲気ではない 13. 女性が働くことについて、上司や同僚の認識が低い 14. その他 ()
--	---

問6 女性が職業をもち、働き続けるためにはどのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 賃金の男女格差を改める 2. 昇進・昇格の男女格差を改める 3. 職能訓練や研修を行ったり、挑戦の機会を設けたりするなどの女性の能力向上を図る 4. 女性の能力を正當に評価し、積極的に管理職に登用する 5. 残業や休日出勤ができないことで不利な扱いをしない 6. 結婚したり出産したりすると勤めにくいような習慣を改める 7. 育児休業や短時間勤務などの仕事と家庭が両立できる制度を充実する 8. 労働時間の短縮や在宅勤務などの普及など、多様な働き方の見直しを進める 9. 仕事と家庭が両立できる制度が利用しやすい職場の雰囲気づくりをする 10. 女性が働くことについて、上司や同僚の認識を改める 11. 男性の家事・育児・介護等への参加を促すための啓発をする 12. 結婚・出産・介護などの都合でいったん退職した女性のための再雇用制度を普及、促進する 13. 求人・職業情報を積極的に提供する 14. 職業生活を続けていく上での相談窓口を充実する 15. その他 ()
--

問7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方があります。あなた自身は、この考え方についてどう思いますか。あなたの考えに最も近いものを選んでください。

1. 賛成	3. どちらかといえば反対	5. わからない
2. どちらかといえば賛成	4. 反対	

問8 あなたは、子どものしつけや教育について、どのような考え方をお持ちですか。次の（ア）から（ウ）のそれぞれについて、あなたの考えに最も近いものを1つずつ選んでください。子どものいない人も、一般的にどう思われるかお答えください。

各項目ごとにお答えください。 (○印はそれぞれ1つずつ)	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	わからない
(ア) 男の子は男の子らしく、女の子は女の子らしく育てるのがよい	1	2	3	4	5
(イ) 男の子にも炊事・掃除・洗濯など生活に必要な技術を身につけさせる	1	2	3	4	5
(ウ) 女の子も自分の考えをもち、男の子と同等に経済的に自立できるよう職業人としての教育をする	1	2	3	4	5

問9 仕事との関係において、家庭生活または町内会やボランティアなどの地域活動をどのように位置づけるのが望ましいと思いますか。また、あなたの実際の生活は、どれに当てはまると思いますか。

各項目ごとにお 答えてください。 (○印はそれぞ れ1つずつ)	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 念入る	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 優先させる	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 両立させる	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 優先させる	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 仕事にも携わ るが、家庭生 活を優先させ る	家庭生活また は地域活動に 関心をもつ 仕事よりも、家 庭生活または 地域活動に専 念する	わからない
(ア)理想の生活	1	2	3		4		5	6
(イ)実際の生活	1	2	3		4		5	6

問10 今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと
2. 男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと
3. 夫婦や家族間でのコミュニケーションをはかること
4. 年配者やまわりの人が、夫婦の役割分担などについての当事者の考え方を尊重すること
5. 社会の中で、男性による家事、子育て、介護、地域活動についても、その評価を高めること
6. 労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること
7. 男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう啓発や情報提供を行うこと
8. 市や県などの研修などにより男性の家事や子育て、介護などの技能を高めること
9. 男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーク）づくりを進めること
10. 家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること
11. その他（ ）
12. 特に必要なことはない

問 11 男性が育児休業を取ることにについて、あなたはどのように思いますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを選んでください。

1. 父親として当然のことである
2. 取ることが望ましいが、職場環境を考えると取れなくてもしかたがない
3. 休業補償が十分ではないので、取れなくてもしかたがない
4. 育児は母親がすべきなので、取る必要はない
5. その他 ()
6. わからない

問 12 あなたは、地域における活動（行政区長など）に女性のリーダーが少ない理由はなぜだと思えますか。次の中から、あなたの考えに最も近いものを2つまで選んでください。

1. 女性は家事や仕事で忙しいから
2. 地域の様々な意見を調整し、組織をまとめていくことは、女性には向いていないから（男性の方が適しているから）
3. これまでの慣習で、リーダーには男性が就任してきたから
4. 女性がリーダーになることに反発する雰囲気があるから
5. 女性は責任のある役を引き受けたがらないから
6. 男性中心の組織運営になっているから（役職や仕事分担、活動時間帯など）
7. 家族の理解や協力が得られないから
8. その他 ()
9. わからない

問 13 「結婚している」「結婚していないがパートナーと暮らしている」方におたずねします
あなたの家庭では、次にあげるような役割を、主にだれが担っていますか。

各項目ごとにお答えください。 (○印はそれぞれ1つずつ)	夫・男性のパートナー	妻・女性のパートナー	夫妻（パートナー）同程度	その他の人	該当なし わからない
(ア) 炊事、掃除、洗濯などの家事	1	2	3	4	5
(イ) 育児や子どものしつけ	1	2	3	4	5
(ウ) 子どもの教育方針や進路目標の決定	1	2	3	4	5
(エ) 土地・家屋・その他高額商品の購入	1	2	3	4	5
(オ) 将来の生活設計を立てる	1	2	3	4	5
(カ) 親の介護	1	2	3	4	5
(キ) 町内会・自治会等の会合への参加	1	2	3	4	5
(ク) 家計の管理	1	2	3	4	5
(ケ) 家庭における最終決定権	1	2	3	4	5

問 18 （問 17 で「1. 受けたことがある」と答えた方におたずねします） その後、あなたは
 どのような行動をとりましたか。次の中からいくつでも選んでください。

- | | |
|--|---|
| 1. 相手に直接抗議した
2. 職場の上司や学校の先生などに相談した
3. 家族や友人に相談した | 4. 公的な相談機関や警察、弁護士などに相談した
5. 特に何もしなかった
6. その他（ ） |
|--|---|

問 19 あなたは、次に掲げる用語をご存知ですか。知っているものをすべて選んでください。

- | | |
|-------------------|----------------------|
| 1. 男女共同参画社会 | 6. ワーク・ライフ・バランス |
| 2. 社会的性別（ジェンダー） | 7. 八女市男女共同参画のまちづくり条例 |
| 3. 固定的性別役割分担 | 8. 八女市男女共同参画行動計画 |
| 4. ドメスティック・バイオレンス | 9. やめ女性のための悩み相談電話 |
| 5. セクシュアル・ハラスメント | |

問 20 男女共同参画のまちづくりのために、今後、市の行政はどのようなことに力を入れたらよいと思いますか。次の中からいくつでも選んでください。

1. 学校教育や社会教育の場で、男女平等についての学習を充実する
2. 女性の生き方に関する情報提供、交流、相談、教育などのセンターとなる施設を充実する
3. 各種団体の女性のリーダーを養成する
4. 家事・育児などへの男性の参画をすすめるための啓発を行う
5. 女性の就労の機会を増やしたり、これまで女性が少なかった分野への女性の進出をすすめたりするための教育や職業訓練を充実する
6. 保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実する
7. 審議会など行政の政策・方針決定の場に女性を積極的に登用する
8. 市が率先して女性職員の登用を図る
9. 暴力・虐待の被害に対する相談窓口を充実する
10. 各国の女性との交流や情報収集など、国際交流をすすめる
11. 広報紙や講座・講演会などで男女共同参画についての啓発をおこなう
12. その他（ ）
13. 特になし

問 21 男女共同参画のまちづくりについて、意見や要望があればご自由にお書きください。

--

問 22 最後に、あなたご自身のことについておたずねします。

(ア) あなたの性別は

1. 女性	2. 男性
-------	-------

(イ) あなたの年齢は

1. 20 歳代	3. 40 歳代	5. 60 歳代
2. 30 歳代	4. 50 歳代	6. 70 歳以上

(ウ) 現在お住まいの校区（中学校区）は

1. 福島中学校区	5. 黒木中学校区	9. 矢部清流学園校区
2. 南中学校区	6. 上陽北浜学園校区	10. 星野中学校区
3. 見崎中学校区	7. 筑南中学校区	
4. 西中学校区	8. 立花中学校区	

(エ) あなたの職業は

1. 会社・工場・商店の従業員	5. パートタイム・派遣等
2. 公務員	6. 学生
3. 自営業（農業・商業・製造業・自由業・サービス業）	7. 無職
4. 家事専業	8. その他（ ）

(オ) あなたの家族構成は

1. 単身世帯	3. 二世帯世帯	5. その他（ ）
2. 夫婦世帯	4. 三世帯世帯	

(カ) あなたの配偶者関係は

1. 結婚している	3. 離別
2. 結婚していないがパートナーと暮らしている	4. 死別
	5. 未婚

(キ) ((カ)で「1. 結婚している」「2. 結婚していないがパートナーと暮らしている」と答えた方におたずねします) 共働きですか。

1. 二人ともフルタイム（正社員など）で働いている
2. 一人はフルタイム（正社員など）、一人はパートタイム（非正規雇用など）で働いている
3. 二人ともパートタイム（非正規雇用など）で働いている
4. 夫（男性のパートナー）のみ働いている
5. 妻（女性のパートナー）のみ働いている
6. その他（ ）
7. 二人とも働いていない

質問は以上です。ご協力ありがとうございました。